～もっと地域と　もっと地域へ～

かがやくえがお

第21号

【学校教育目標】夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り拓く児童の育成

令和8年　9月　2日
長崎市立小島小学校
校　長　　桐山　充晴

順調に２学期がスタートしました！



新学期がスタートしました。しんと静まり返っていた学校に子供たちの元気な声とともに、再び活気が戻ってきました。先日の授業登校日（２６日）とは違い、子供たちは、今年の夏休みの収穫を大きな自信と誇りとして、また溢れるやる気をもって本日登校してきました。

４５日間の休み中に、①十分な親子のふれあい、②熱中症や感染症への対応を十分行った上での各種体験活動への参加、③交通事故・水難事故への配慮などに気を付けてくださったおかげで、命に関わる事故やけがもなく、２７４人の児童及び全職員が元気に２学期を迎えることができました。このことは、子供たちの自覚に併せて、保護者の皆様方の御協力の賜物と職員一同感謝しております。

２学期は、高学年は、小音会、宿泊体験学習や修学旅行などがあり、保護者の方々に大変お世話になるかと思います。よろしくお願いします。

今学期も小島小学校では、日々の学習の充実はもちろんですが、生活一つ一つにおいて、



目標をもち挑戦していくことができる子供を育てるために、全職員が心を一つにしてじっくり取り組みます。より一層の御理解と御支援をお願いします。



２学期始業式



夏休みに向けては、「新しい自分づくり」を合言葉とし、これまで同様「考動」を継続したり、目標をもって努力したりし、「今よりも一歩前進した自分」を目指してほしいという願いを伝えました。

今学期、本校では「挑戦と感動」を大切なテーマとして掲げて、「失敗を恐れず挑戦すること」の大切さを話しました。「挑戦」というと大きな目標を想像しがちですが、大切なのは結果の良し悪しではなく、「小さくても自分なりの一歩を踏み出せたかどうか」です。失敗を恐れずに取り組むプロセスそのものが子供たちを大きく成長させ、その先にある達成感や「感動」へとつながっていきます。最初から何でもうまくいく人はいません。うまくいかなかった経験も「どうすればよくなるかを学ぶ大切なチャンス」です。子供たちが自分らしさを発揮し、「好きなこと」「得意なこと」に向かって「小さな挑戦」を積み重ねていけるよう、学校と御家庭で寄り添いながら応援していきたいと考えております。子供たちが自ら「小さな一歩」を踏み出し、「大きな成功」を得る場面が少しでも多く見ることができるよう、大切に支援していきます。



「成功の反対は、何も挑戦しないこと」。御家庭におかれましても、お子様が新しい目標に向けて一歩踏み出す姿勢を温かく励まし、見守っていただければ幸いです。また、家庭での「できたこと」「頑張ろうとしたこと」への温かいお声がけをよろしくお願いいたします。



以下に、始業式で子供たちに伝えた講話原稿を掲載いたします。ぜひ御家庭での話題や振り返りに御活用ください。

2学期の始業式の講話では、以下のような内容を伝えました。　　（部分抜粋）

2学期のテーマは、自分で考えて動く「考動」はもちろんですが、「挑戦と感動」です。

「挑戦」と聞くと、何か大きなことや、特別な目標を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、急に大きな山を登ろうとすると、どこから足を踏み出せばよいか分からなくなってしまいます。私がみなさんに取り組んでほしいのは、そうした大きなことではなく、「小さな一歩を踏み出す挑戦」です。まずは「小さな一歩」を踏み出してみてください。小さな挑戦を１つ始めると、「このやり方は自分に合っているな」とか、「次はもう少しこうしてみよう」ということが見えてきます。一歩踏み出すことで、次の一歩がどんどん進みやすくなっていくのです。また、挑戦するときに、失敗を恐れる必要はありません。最初から何でもうまくいく人はいません。うまくいかなかったとしても、それは失敗ではなく「どうやったらよくなるかを学ぶチャンス」です。あきらめずに続けることこそが、みなさんを大きく成長させてくれます。

「成功」の反対は「失敗」ではありません。「何も挑戦しないこと」です。一歩でも二歩でも前進できるように、たくさん挑戦し続けましょう。「挑戦」を、「努力」を続ける限り、それは失敗ではありません。好きなことを続けて、「得意」を目指せる2学期にしていきましょう。

毎日の授業だけでなく、行事や係活動、委員会など、一人ひとりが活躍できる場面がたくさんあります。ぜひ自分なりの「小さくても新しい目標」を一つ見付け、勇気を出して一歩を踏み出してみてください。そしてその「挑戦」とは、「できたか・できなかったか」という結果だけではなく、大切なのは、「失敗を恐れずにチャレンジできたかどうか」です。このチャレンジこそが、みなさんを「なりたい自分」へと成長させてくれます。

もう一つのテーマ「感動」。「感動は、チャレンジのある所にしか生まれない」のです。だからこそ、たくさん挑戦することで、自分自身も、そして周りの人も感動できるような素晴らしい成果や頑張りを手にすることができます。

先生の話をよく聞き、友達と協力しながら、みんなで自分の「大好き」や「やりたい」にチャレンジする最高の2学期を始めていきましょう。

2学期が終わる頃、「自分はこれを頑張った」「一歩前進できた」と胸を張って言えるような、実り多い毎日にしていきましょう。みなさんの「小さな挑戦」と、そこからの大きな成長を楽しみにしています。

児童の登校時刻の見直し

昨日、全学級で子供たちへも知らせ、保護者の皆様にはtetoruで配信させていただいた内容と重複しますが、大切なお知らせですので、お目通しください。

「登校時刻の見直し」といっても、多くの児童についてはこれまでと何も変更がない状態だと思います。今後見直しを図っていく内容とその理由は、以下の通りです。

現　行　**7時30分**から校舎に入ることができる。
変更後　**7時45分**から校舎に入ることにします。



その理由としましては、主に、①「**十分な睡眠時間**を確保し、**朝食をしっかりと摂ってから登校**する習慣づくりを目指す」②「早朝の登校時間帯は通学路の人通りが少なく、特に冬場においては**暗くて視界が悪い**など、防犯・交通安全上のリスクが高まります。人通りが増え周囲が明るくなる時間帯に合わせて登校することで、より**安全な登校**を目指す」ということからです。

１１月からの完全実施に向け、少しずつ時間調整をしていただければと考えています。また、**登校完了時刻を８時１５分**としていますが、ゆとりと落ち着きをもって学習をスタートさせるするためには、**できれば８時５分までの登校が理想**です。遅すぎる登校（遅刻）も人通りが少なく危険です。こちらも御家庭でお話しいただき、できるだけ改善していただければと思います。御理解と御協力をお願いいたします。

